



Time:15:30時点

※前回報：8月5日報 Vol:20

統括部 企画統括課

今週のTOPIC

アラムコが原油生産を日量上限の1,200万バレルまで引き上げる用意があること表明

■ [8月CP] プロパン：\$670（前月比▲\$55）、ブタン：\$660（前月比▲\$65） ■ [7月MB平均]：\$597（前月比▲\$35）

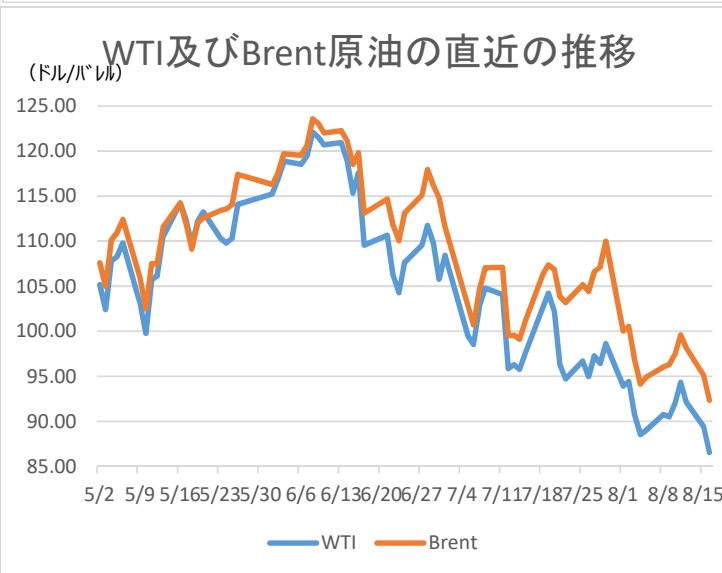
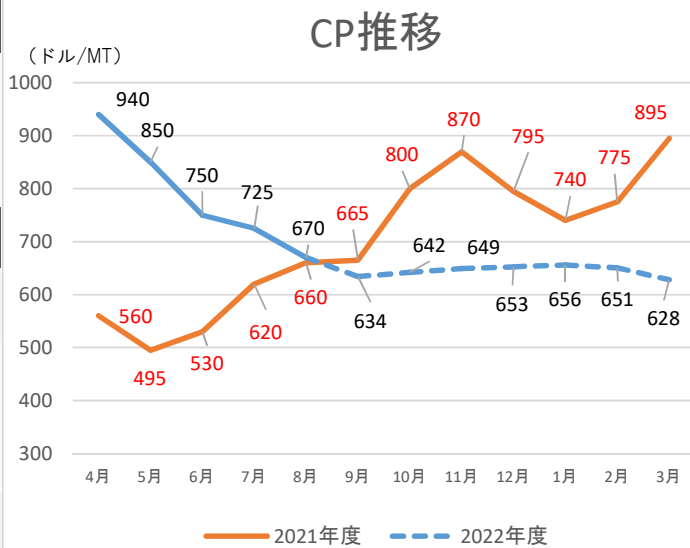
エネルギー市場

原油 先物 (USD/BBL)	今回	前回	前回比
NY/WTI (9月)	86.53	94.42	▲7.89
北海Brent (10月)	92.34		

LPガス 先物 (USD/MT)	AL熱量換算比			
プロパン予想値	今回	前回比	今回	前回比
CP 9月	634	▲40	76%	±0%
MB 8月	573	▲27		

プロパン	10月	11月	12月	1月	2月
CP先物	642	649	653	656	651
プロパン	9月	10月	11月	12月	1月
MB見通し	573	571	571	571	567

外航フレート (USD/MT)	8/17時点	※前回	前回比		
中東-日本	55.0	62.0	▲7.0		
米国-日本 (パナマ運河経由)	93.5	91.0	+2.5		
為替/TTS	8月予測	7月	6月	5月	
USD/円	20日 〆	135.71	137.42	132.08	130.16
	末日 〆	134.93	137.79	134.93	129.81



LPG元売り9月改定幅予測値 (円/t)	プロパン	ブタン
ジャパンガスエナジー	改定レンジ： ▲8,200～▲8,800	▲8,900～▲9,500
ENEOSグローブ	改定レンジ： ▲9,000～▲9,600	▲10,000～▲10,600
アストモスエネルギー	改定レンジ： ▲8,000～▲8,600	▲9,500～▲10,100
ジクシス	改定レンジ： ▲7,900～▲8,500	▲9,500～▲10,100

マーケット概況

	今回	※前回	前回比		今回	※前回	前回比
NYダウ (US\$)	33,980.32	32,812.50	+1,167.82	TOPIX (円)	1,991.93	1,930.73	+61.20
S&P500 (US\$)	4,274.04	4,155.17	+118.87	金 (Gold) 先物 (US\$)	1,775.75	1,785.70	▲9.95
米国債券10年利回り (%)	2.873	2.732	+0.141	VIX恐怖指数 (%)	19.90	21.95	▲2.05
日経平均 (円)	28,975.71	27,932.20	+1,043.51				

今週のTOPIC

アラムコが原油生産を日量上限の1,200万バレルまで引き上げる用意があること表明

原油概況

★サウジアラムコの増産準備表明と中国経済指標の軟化でWTIが\$80台に下落

影響度

強気・
上昇要因

- ① I E Aは今年の石油需要増加幅予測を日量38万バレル上方修正 (I E A=国際エネルギー機関)
- ② I E Aは猛暑の影響や天然ガス価格の高騰で石油の発電需要拡大を指摘
- ③ 米国内の石油掘削リグ稼働数が10週間ぶりに減少、7基減の598基となる

弱気・
下降要因

- ① サウジの6月原油生産は前月比日量11万バレル増加し、2年ぶりの高水準
- ② O P E Cは今年の石油需要増加幅予測を日量26万バレル下方修正
- ③ イラン核合意再建に期待、輸出再開すれば日量100万バレル以上供給増

LPガス概況

★不需要期と供給の過多によりCP \$600台半ばでの推移予測

(強気)

インドの2022年L P G累計消費量が前年比3.2%増加

(弱気)

- ① 米国プロパン在庫は需要の減少により週間で17万トン増加 (3.2%増)
- ② 中国、韓国の石油化学プラント向け需要低調により需給が緩和

「L P Gの石油化学利用」

- ・石油化学工業では、ナフサに代替することが可能なブタンが、エチレンの原料として利用されています。
- ・製油所で生産されるプロパンの一部は、プロピレンの重要な原料となっています。
- ・北米、欧州、東アジア (中国、韓国、台湾など)、中東では、L P Gを石油化学原料として利用することが多く、世界におけるL P Gの用途別構成比でも家庭業務用約43.6%に次いで化学原料用が約28.2%を占めています。